

令和8年度 第1回学校運営協議会（記録）

日時：令和8年6月26日（金）15:30～16:45

場所：麻生高等学校 会議室

委員：東京都市大学入試部長	小澤 亮賀
専修大学人間科学部講師	栗原 和樹（欠席）
川崎市立金程中学校長	金子 清
金程町会会長	豊丹生 信隆
金程永久の会会長	小松原 一剛
麻生区地域教育会議議長	名古屋 洋一
麻生高等学校PTA会長	佐藤 恵介
麻生高等学校長	小島 由美

○校長挨拶

○学校評価部会

（1）学校評価報告書（目標設定）について

教育課程・学習指導

- ・今年度は「評価」をテーマに授業改善を行う。記録に残す評価、指導に生かす評価を意識して実施する。

生徒指導・支援

- ・教育相談体制の見直しを図っている。多くの目で生徒を見ていく体制を整えている途中である。
- ・登下校中のマナー等、規範意識の向上について特に力を入れて取り組んでいく。

生徒会指導

- ・文化祭では今年度からキャッシュレス決済を導入する。また、開催曜日を土日から金土に変更し、金曜日は保護者のみへの公開とする。

進路指導・支援

- ・探究、ガイダンスで進路についての考えを広げる。卒業生の講話やルワンダから帰国した職員の話などをキャリア教育につなげる。
- ・スタディーサブリで学力の向上を図り、英検の合格率を上げる。2年生に英検準2級を受検させ、さらに2級へ挑戦させたい。

地域等との協働

- ・PTA、地域にお世話になっている。金程小・中学校と協働して同じ活動ができるとよい。
- ・校内に壁画を描くプロジェクトを始めた。本校の特徴（芸術教育）を生かし、全校生徒でテーマを決め、美術Ⅲの生徒を中心に制作する。PTA委員の保護者にも参加を呼び掛ける。
- ・学校ホームページの更なる充実に取り組む。落ち着いた環境で学習ができるという当たり前のことを魅力としてどう打ち出すか。
- ・昨年度12月に行った部活動体験を10月に実施する。

学校管理・運営

- ・オフィス改善事業により職員室、事務室のリニューアルが行われる。これを機に、より働きやすい環境を整え、業務の効率化、事故防止につなげたい。

(2) 質疑応答・意見

- ・キャッシュレス決済はどのように行うのか。⇒ 業者から機器をレンタルする。
- ・壁画はどこに描くのか。⇒ 体育館へ行く手前の廊下。2m×8m くらいのスペース。
- ・県立高校はどういった学校に人気があるのか。
⇒通信制、私学、進学校が人員を増やしている。立地条件も関わる。県の端の学校は集まりにくい。
- ・オンライン授業やハイブリッド方式など是可以できるのか。
⇒県全体としてリモートや通信の手法は可能になっているがそれを特色にするのは難しい。
- ・PTA は任意加入であるが、加入率は高い方か。一つの売りになるのではないかという印象がある。
⇒加入は9割。近隣で高P連から脱退した高校もあるが、本校はやりたい人がやるというスタンスでおこなっている。
- ・大学でも学生のマナーについて苦労している。学生の意識改革を図るためにアンケートを行い、やってはいけない場面をイラストで示すなど注意を促している。サポートドックの回答結果から生徒に還元できるとよいのではないか。
- ・隣の学校なので悪い面も見えるはずなのに（麻生高校については）そのようなことがない。しかし、1学期に麻生高校を志望していた生徒が、秋には志望先が変わっている。検証した結果、保護者向けの説明会を計画した学校へ流れていた。高校卒業後の進路、年内入試の良さ、楽しさを上手にPRしている高校もあったようだ。
- ・中学校を見ていると、（生徒・保護者は）高校卒業後の進路を気にしている。麻生高校では指定校推薦、総合型選抜の希望者が多いように感じる。そこをアピールしてはどうか。進学先の学部まで示してもよいのではないか。
- ・いろいろなイベントで人寄せができるアイデアが生徒からも出てきたらよいアピールになる。
- ・（地域の）小学校、中学校は幼い頃から麻生高校を見ている。地域の子どもたちに入学してもらえよう広報できるとよいのではないか。

○地域連携部会・キャリア部会

- (1) 活動（実施結果）について、資料に基づいて説明。
- (2) 質疑応答・意見
- ・特になし

○閉会